



2025年度 製品安全基本教育講座

－ 製品安全の基本を学ぶ －

製品安全に関する最先端の規格動向が身につきます

講座概要

本講座は製品安全の基本から個別の製品についてのIEC安全規格の具体的な要求事項に加えて、IEC 62368-1や電気用品安全法の技術基準の性能規定化等の最新情報を盛り込んでいます。全講義を通して受講することにより、製品安全の基本を幅広く修得いただけます。また、受講者が関わる製品分野や知識の必要な講座だけを選択受講することも可能です。

講座コーディネーター：柴田 恵 氏 (IEC TC108 HBSDT エキスパート)

募集要項

開催期間・時間

2025年9月12日(金)～2026年3月13日(金) 全7回
時間 13:00～17:00

会場

Zoomによるオンライン(全国どこからでも参加可能)

受講対象

品質部門、製品安全、規格認証に関わる方

講師陣

業界の最先端で活躍されているエキスパート

定員

先着 50名 申込締切：各講義、開講日の1か月前
※ただし、定員になり次第募集を締め切ります。

受講料(消費税込)

KEC会員 : 7,700円/1名
非会員 : 11,000円/1名

1講義(1日)当たりの受講料です。
オンライン開催のため、受講料は割引価格を適用しています。

申込・受講方法

KECウェブサイトの申込みフォームからお申込みください。
請求書(PDF)をご送付いたします。複数講座の同時お申込みの場合は一括請求となります。分割請求はできません。
期日までに請求書記載の指定銀行口座に受講料をお振込みください。

受講証の発行はしていません。

開催日の前日までに、聴講用URLが記載された案内メールを送信いたします。講座開催日時に、聴講用URLよりログインいただき、ご受講ください。

開催にあたっての注意事項

※やむを得ず講演内容や配信方法を変更、あるいは、急きょ配信を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

※セミナー・講座の記録行為(録音・録画・スクリーンショット・撮影)、講演内容の転用、聴講用URLの無断共有、チャットでの誹謗中傷、参加者の情報共有は固く禁止いたします。誓約いただける方のみご参加いただけます。

※コンサルタント、同業のお客様のお申込みはお断りする場合がございます。

※参加申込済みのお客様以外のご参加はお断りいたします。

※聴講には、パソコン等の情報端末とインターネット環境が必要です。インターネットの回線速度及びパソコンの動作検証についてはお客様にてお願いいたします。

お申込み前に、当日使用する端末と場所で
<https://zoom.us/test> にアクセスし動作確認テストを行ってください。

回線やパソコンの不具合により、万一聴講ができない場合、後日の再開催やオンデマンド配信等の対応はしておりません。

※Zoomアプリでの聴講を推奨いたします。Zoomアプリは最新版をお使いください。Zoomアプリが利用できない場合は、ウェブブラウザからでも聴講が可能です。ただし、複数端末での聴講は認めておりません。

※お客様のご都合によるキャンセルは原則としてお受けしておりません。

※テキストはPDFにて配付します。製本テキストの配付はございません。

テキストダウンロード専用ページのURLをメールにてご連絡いたします。

お振込みもしくは予定日のご連絡が遅れた場合、テキストに関する連絡が遅れる場合がございます。

■問い合わせ先

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター
専門委員会推進部 事務局 西川 哲弘 / 河上 茜
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2
E-mail : publication01@kec.jp TEL : 0774-29-9041

■申込み・詳細はこちら

<https://www.kec.jp/seminar/anzen25/>



講座の特徴

- 対象者 : 製品安全に携わる関係者全般、技術者、設計者、品質担当者等幅広く募集
 講師陣 : 業界最先端でご活躍の講師陣(IEC TC108 HBSDT エキスパート 柴田 恵 氏 企画)
 分り易さ : 製品安全の基本、規格をわかりやすく解説、Q&Aも設定
 幅の広さ : 年間受講により、基準認証制度、リスクアセスメント、共通技術、最先端の規格動向の把握が可能
 先進性 : ハザードベース概念により新規策定されたIEC 62368-1を受講することでAV・IT・CT機器の要求のみならず、他の規格に共通する製品安全の概念が得られる。

講座カリキュラム・日程

開催日時	講義項目	講師
1 2025年 9月12日 (金)	製品安全の基本的な考え方と世界の製品安全法規・規制・認証制度 1) 製品安全の基本的な考え方 1-1 安全とは 1-2 安全の基準 1-3 企業での製品安全管理 2) 世界の主要製品安全法規・規制・認証制度 2-1 欧州[EU(LVD)、英国] 2-2 北米[アメリカ(CPSA、UL)、カナダ] 2-3 アジア大洋州[中国] 2-4 その他の国	川口 昇 氏 株式会社UL Japan
2 9月30日 (火)	事件事例とリスクアセスメント 1) リスクアセスメントとは 2) リスクアセスメント手法 3) 事件事例とリスクアセスメント 4) リスク低減の方法と事例 5) 事故データベースの活用 6) リスクアセスメント実習 ※ 講義の理解度を高めるため、具体的な製品のリスクアセスメントの課題を事前に提出いただきます。	疋田 侑也 氏 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
3 10月24日 (金)	電気用品安全法の技術基準(省令)及びIEC規格の基礎 1) 技術基準の性能規定化と技術基準解釈の一本化 2) 電気用品安全法の技術基準省令と解釈の関係 3) IECの組織と規格作成プロセス 4) 製品安全規格に共通する要求 4-1 用語の定義(絶縁構造、沿面距離、空間距離等) 4-2 ハザード別の要求(感電、火災、傷害等) 4-3 表示要求 4-4 部品に対する要求	住谷 淳吉 氏 一般財団法人 電気安全環境研究所
4 12月3日 (水)	機器別IEC規格要求: AV・ICT機器(IEC 62368-1) 1) HBSE (Hazard Base Safety Engineering) の基本概念 2) ハザード別の要求(感電、火災、機械的要因による傷害、熱傷等)	近藤 孝彦 氏 一般財団法人 電気安全環境研究所
5 12月23日 (火)	機器別IEC規格要求: 電化機器(IEC 60335) 1) IEC 60335-1(Ed.5.2) の要求(Ed.6.0の改訂点を含む) 1項(適用範囲) ~ 32項(放射、毒等の危険) の要求を解説 2) IEC 60335 Part2 (個別機器規格の要求) Part2の内容をスポット的に紹介、IEC規格改訂の取組み内容紹介	氏田 良太 氏 パナソニック オペレーション エクセレンス株式会社
6 2026年 1月30日 (金)	IEC (JIS C) 60664シリーズ規格の概要 ~低電圧電力システム内装置用絶縁協調~ 1) IEC (international Electrotechnical Commission) 規格について 2) IEC (JIS C) 60664シリーズ規格の概要 2-1 IEC (JIS C) 60664シリーズ規格の構成 2-2 IEC (JIS C) 60664-1について 2-3 IEC (JIS C) 60664-3: コーティング等による保護 2-4 IEC (JIS C) 60664-4: 高周波(30 kHz超)電圧ストレスの考慮 電気製品の遠隔操作(電安法/IoTガイドライン関係) 1) 電気用品の遠隔操作機構による操作(電安法関係) 電安法・技術基準省令の解釈、各種報告書(解説)、IoTガイドラインとの関係 2) 【参考】電気用品調査委員会 特別検討部会(IoT関連)の活動について 関連文書の改訂作業の状況、他	成田 和人 氏 一般財団法人 電気安全環境研究所
7 3月13日 (金)	樹脂材料の基礎知識と特性評価方法の解説(UL 94, UL 746等) 樹脂材料の基礎知識 ・難燃性に関連する各種評価試験(難燃性評価試験(UL 94等)) ・その他各種樹脂材料の特性評価試験(耐電気性試験(UL 746C等)、耐熱特性試験(UL 746B)、 耐候性試験(UL 746C)、物理特性試験(UL 746A))等を中心とした新しい評価試験方法	有森 奏 氏 株式会社UL Japan

※プログラムは、事情により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。